

東京オリンピック 2020 やラグビーワールドカップ仕様、原動機付き自転車などでは既におなじみとなっている図柄入りナンバー（ご当地ナンバー）。

2018年10月から交付開始が開始されているご当地図柄入りナンバーは「**自動車を走る広告塔にして地域の魅力を全国に発信していこう!**」という取り組みで導入されるもの。各地域、自治体ごとに工夫を凝らしたデザインのナンバーが用意され、ユニークなデザインのものばかりになっています。

下の3つも新たに導入されているご当地ナンバーです。それぞれその都市の代名詞となる物がプレートに描かれています。そのイラストをヒントに3つが日本のどこの都市のナンバープレートなのか教えてください。



《ヒント》

飛行機が飛び立っている図柄ですね。

まさに世界からの日本の窓口になっている都市ですね。

答え **成田市**
(成田国際空港)



《ヒント》

いまや世界的にも大人気となった、この都市を代表するキャラクターがひょっこりのぞいていますよね。

答え **熊本市**
(くまモン)



《ヒント》

鯉が飛び跳ねていますね。また街中にあるこの橋も、有名な歌の中に出てきますよね。南国のあの都市です。

答え **高知市**
(鯉、ハリマヤ橋)